

立命館中学校高等学校 新入生・在校生のみなさんへ

2020年度は、皆さんに登校してもらえない、とても寂しい始まりとなってしまいました。立命館中高では、この間、新型コロナウイルスの感染拡大にかかわって、生徒のみなさんご家族、そして教職員や学校関係者の健康と安全を第一優先に考え、3月から休校措置をとってきました。そして4月7日からは、緊急事態宣言を受けた立命館学園の方針にしたがい、教職員もできるだけ在宅勤務の形をとることとなり、限られた条件で業務を続けています。このように日常が失われた状況において無念さや戸惑いを感じることもありますが、世界中の多くの人それぞれの立場で、多様に複雑な気持ちを抱えながらも今の自分にできることを考え、一人ひとりの責任を精一杯果たそうと努めているのが今の社会なのだと思います。

休校にあたって、私からの皆さんへの一番の願いは「命を大切にしてください」ということです。自分の命、ご家族や大切な人の命、そして、そこにつながるあらゆる人の命に想いを馳せ、自分の責任ある行動の形を決めてください。これが、何よりも一番の願いです。

その上で、私からみなさんへ、一つの問いかけをしたいと思います。少し時間をとって、じっくり考えてみてください。

「仮に、今自分が大人だと想定して、何らかの職業をもっているとしたら、それはどのような仕事で、どのように社会に貢献したいですか。」

今は、平常時よりもずっと多くの困り事が、社会のあらゆる所にあります。そして、世界中の様々な立場の人が、それぞれの役割を果たそうと不断の努力を続けています。例えば、医療関係者は当然のこと、ワクチンや薬の開発を担う研究者、人の生活を守るためにいくつも新たな制度を立ち上げている行政の関係者。企業もそれぞれの形で社会貢献の幅を広げています。あなたが今社会人だったら、どんな立場でどんな貢献をしたいですか。今、世の中を見て一番気になることは何ですか。なぜ？と思うことは何ですか。どんなことを解決したいですか。そのためには、どんな知識や技術が必要ですか。あなたが10年後にそれを実現させるとしたら、今どんなことをしておきたいですか。どんなことでも構いません。この世の中を眺める中で芽生えた興味や探究心を、大切に育ててください。それが、これからの学びに向かう気持ちを支えることになります。

そして、そのような考えを深めるためには、世の中をより良く知る、という事が必要になります。情報の渦にのまれず、自分を失わず、日々変化する複雑な世の中を多面的に理解していくために、自分が日々手にしている情報の質を見極めてください。その具体的な方法を二つ提案します。

一つ目は、いま手にしている情報がどんな性質のものかを把握するために、「誰が」「どの立場で」「何を目的に」「誰に対して」発信しているのかを確かめることです。これらの条件が違えば、同じ内容であっても、意味のとらえ方を変えた方が良い場合があります。

二つ目は、「この情報は私の気持ちを利用していないか？」と疑ってみることです。人には何か先が見えないことや、理解できないことに対する不安感があります。ちょっと目をひくような話が好き、という傾向もあります。あなたのそんな気持ちを悪用しようとする情報が、世の中にあふれています。信頼に足る情報は、人を驚かせることも、不安がらせることも、奇をてらうこともありません。そういった情報の「顔つき」をとらえる力を身につけることを意識しながら、いろいろな情報に触れてみてください。

学校は、勉強だけでなく、様々な人との出会いと関係性の中で自分の視野を広げ、人間性を高めていくための場所です。毎日の学校生活の中では、うまくいくこともいかないこともあります。楽しいこともつらいこともあります。思いがけないことが起こったりもします。全部ひっくるめて、多様な仲間と切磋琢磨し、新しいことに挑戦し、失敗からも学んで、誰もがそれぞれの形で少しずつたくましくなっていく場所です。今はそういったことを限られた形でしか行えませんが、いつか、安全に登校できる日が来たら、みんなで思いっきり学校という場を楽しみましょう。思いっきり学びましょう。そのときまで、とにかく健康に過ごしてください。みなさんのことを、心から大切に思っています。

代表校長 堀江未来